

2012-2013 年度の運営体制について

山本博之

日本マレーシア学会 (Japan Association for Malaysian Studies, JAMS) は、マレーシアおよびその近隣地域の研究を目的に 1992 年に設立されました。現在、国内在住の研究者を中心に約 190 名の会員が所属しています。

JAMS は、

- ◇国際レベルで参照されるマレーシア研究の最前線研究者の育成
 - ◇海外地区活動を含む多種多様な連携研究会を結ぶネットワーク作り
 - ◇国内の学会・研究会や研究プロジェクトをつなぐ研究連携
 - ◇実務家の視点を取り入れた研究と社会の橋渡しを進める社会連携
 - ◇自然災害対応などにおける研究活動を通じた社会への実践的貢献
 - ◇ウェブサイトや会報『JAMS News』を通じた会員や社会への発信
- など、マレーシア研究を軸に、幅広い活動を行っています。

2012-2013 年度の会長として宮崎恒二会長が再任され、宮崎会長にご指名いただいた私が来期の運営委員長に選出されましたため、この場をお借りして 2012-2013 年度の JAMS の運営方針についてご紹介させていただきます。

これまで 4 年間の JAMS は、研究会から学会へという名称変更にも象徴的に示されているように、西尾寛治運営委員長の指導のもと、活動の幅を

格段に広げてきました。一方に地区例会や研究大会を組織する研究連携ウイング、もう一方に官公庁や企業・NGO との連携を進める社会連携ウイングを置いて活動の翼を広げるとともに、学会誌『マレーシア研究』の創刊により研究活動を深めることも行われてきました。

その後を引き継いで発足する 2012-2013 年度の運営体制では、基本的に 2012 年度までの運営体制を踏襲し、地区例会・研究大会の活性化、官公庁・民間企業・NGO との連携、学会誌『マレーシア研究』を通じたマレーシア学の発信、ウェブサイトや会報『JAMS News』を通じた情報発信の強化などの活動の恒常化をはかっていきます。会員のみなさんにはぜひとも積極的な参加をお願い申し上げます。

研究連携ウイング

JAMS の研究活動を担います。JAMS の日常的な活動の中心である地区例会 (関東地区、関西地区) や、年に一度の研究発表の場である研究大会を担当しています。

2012-2013 年度は、研究大会の担当委員を 2012 年度担当と 2013 年度担当に分けました。2012 年度の研究大会担当は、今から約 20 年前にマレーシアで現地調査を行ったシニア研究者に集まっていただき、それぞれの分野における「マレーシア学」を披露していただくことを期待しています。2012 年はルックイースト政策 (東方政策) 実施 30 周年であることもあり、ルックイースト

政策の30年を振り返った研究集会在企画される予定です。

2013年度の研究大会担当は、中堅の研究者に集まっていただき、狭い意味でのマレーシア研究者ではない方々にも何人か加わっていただいています。マレーシアを一歩外から見ることで、マレーシアとはどのような場なのかを改めて検討されることを期待しています。

研究連携ウイングには、地区例会と研究大会のほかに、JAMSとゆるやかに連携して研究活動を行うJAMS連携研究会もあります。

現在、JAMS連携研究会には以下のものがあります。

- －日本マレー世界研究会
- －クアラルンプール地区研究会
- －「ジャウィ文献と社会」研究会
- －マレーシア映画文化研究会

JAMSの活動に関連する研究グループで連携研究ウイングへの参加を希望するグループがありましたら、研究グループ代表者よりJAMS事務局までご連絡ください。

【担当委員】

- 舩谷鋭(関東地区)
- 市川哲(関東地区)
- 多和田裕司(関西地区)
- 吉村真子(大会担当・2012年度)
- 黒田景子(大会担当・2012年度)
- 富沢寿勇(大会担当・2012年度)
- 穴沢眞(大会担当・2012年度)
- 片岡樹(大会担当・2013年度)
- 見市建(大会担当・2013年度)
- 鈴木絢女(大会担当・2013年度)
- 長津一史(大会担当・2013年度)

福島康博(大会担当・2013年度)

社会連携ウイング

JAMSの活動の特徴の1つに、公開セミナーの開催などを通じて、官公庁やNGO、民間企業との研究上の連携を積極的に進めてきたことがあり、引き続き進めていきたいと思ひます。

さらに、2012年度はルックイースト政策30周年にあたることから、学術研究の観点からのルックイースト政策に対する評価をもとに政策提言としてまとめ、日本の外務省を通じてマレーシア側に提示することも検討します。

【担当委員】

- 川端隆史
- 井口由布
- 畝川憲之
- 岡本義輝
- 戸加里康子
- 永田篤史

会誌編集委員会

学会となったJAMSは、「マレーシア学」を提示するために学会誌『マレーシア研究』を創刊し、査読を通った学術論文を掲載しています。

会誌編集委員会には、専門地域・専門分野が多岐にわたる編集委員が集まり、広がりのあるマレーシア学を発信する学会誌としていきたいと思ひます。会員のみなさんの投稿をお待ちしています。

【担当委員】

- 田村慶子(編集委員長)
- 金子芳樹(副編集委員長)
- 井上真

津田浩司

山本博之

ます。

JAMS ウェブサイト:<http://jams92.org/>

事務局

会計、会員情報、ウェブサイト管理をはじめ、JAMS の活動を支える業務を担当します。入退会、会員情報の変更、会員用メーリングリストなどについては事務局までお問い合わせください。

事務局へのご連絡は、事務局メールアドレス (secretariat@jams92.sakura.ne.jp) までメールでお寄せください。

【担当委員】

西芳実(事務局長／総務・渉外)

坪井祐司(会計)

篠崎香織(会員情報)

新井和広(ウェブサイト管理)

なお、運営委員ではありませんが、監事は次の2名にお願いしています。

永田淳嗣

西尾寛治

JAMS 事務局の連絡先

日本マレーシア学会(JAMS)事務局
〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46
京都大学地域研究統合情報センター 西芳実研究室

事務局メールアドレス:

secretariat@jams92.sakura.ne.jp

会員情報や会費納入を含む一般的な運営に関する問合せは事務局までお寄せください。いただいたメールには担当の運営委員が返答し